

## 乳児期・小児期の腸内細菌叢とヒトの健康

乳児とビフィズス菌との共生系、小児期の食習慣と腸内細菌と健康の相互関係  
についての講演会および講師を交えての軽食交流会を実施

近年、次世代シークエンサーを用いた解析技術の進展により、腸内細菌叢の構成が健康状態に大きく影響することが明らかとなり、腸内環境を整えるための食習慣の重要性が明確になってきています。今回の研究会では、乳幼児の健康に重要なビフィズス菌とヒトの密接な共生系について紹介します。また、周産期から乳幼児期、学童期に至る小児期の食習慣と腸内細菌叢、健康との関連について解説します。

本研究会が、小児の健康促進に貢献する取り組み、ビジネス創出につながることを期待します。

### 開 催 内 容

日時 2026年**3**月**2**日（月） 15：00～17：30

会場 龍谷大学瀬田キャンパスRECホール （対面＋Web）ハイブリッド開催

参加費 **無料**

申込方法は裏面をご確認ください。

#### 開会挨拶（15:00～15:05）

#### 講演 1 「乳児期にて特異的に見られる腸内細菌とヒトの共生」（15:05～15:45） 龍谷大学 農学部生命科学科 准教授 阪中 幹祥

一般に、母乳栄養児の腸内では、ビフィズス菌が優勢な腸内細菌叢が形成され、宿主であるヒトに対して保健効果をもたらしていることが知られています。これまでの研究にて我々は「ビフィズス菌優勢な細菌叢形成と本菌がもたらす保健効果発揮」には、母乳に含まれる特定の成分が鍵を握ることを見出してきました。本講演では、我々の研究成果を交えながら、近年分かってきた、母乳成分を介したビフィズス菌とヒトの密接な共生系について紹介します。

#### 講演 2 「周産期から学童期にかけての食習慣・腸内細菌と小児の健康」 龍谷大学 農学部食品栄養学科 教授 楠 隆 （15:50～16:30）

近年、野菜摂取を中心とした食習慣は腸内環境を整え、アレルギー疾患の改善・予防など小児の健康に好ましい影響を及ぼす可能性が示されています。本講演では、周産期から乳幼児期、学童期に至る小児期の食習慣と腸内細菌叢、健康との関連について概説するとともに、当研究室で取り組んでいる学童期の野菜摂取とアレルギー症状との関連を明らかにする縦断研究の概要および途中経過を紹介し、「食－腸内細菌－健康」の相互関係について考察します。

軽食交流会（16:35～17:30）※**対面のみ** フィンガーフード、お飲み物をご用意します。

【注意事項】

- Webでのご参加には、事前のZoomアプリのダウンロードを推奨します。
- 本研究会では講演をリアルタイムで配信し、質疑応答の時間を設けます。
- 対面で参加される場合は、本学瀬田キャンパスRECホールへ直接お越しください（先着50名様）。開催前日に当日のご案内メールをお送りしますのでご確認ください。
- オンラインで参加される場合は、開催当日に受講のためのURL等が記載されたメールをお送りします。迷惑メールのフォルダに入ることがありますのでご確認をお願いします。
- メールまたはFAXでお申し込みの際、お名前、ご所属、連絡先、ご希望の参加方法を必ず記載ください。
- 本講座の投影資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次加工は一切禁止しております。

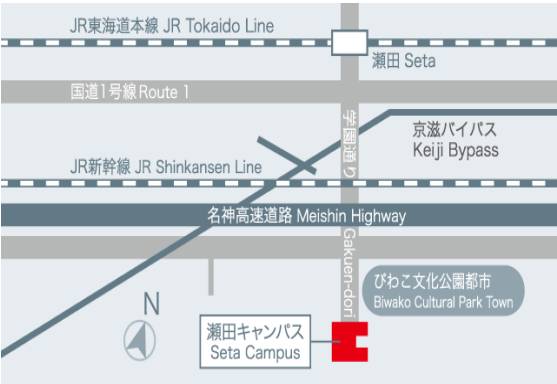
【参加申込について】 申込締切日：2026年2月28日(土)  
こちらのサイト（<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-17928.html>）  
からお申し込みください。



または、以下の様式に必要事項をご記入の上、E-mailもしくはFAXでお申込みください。  
E-mail：rec@ad.ryukoku.ac.jp    FAX：077-543-7771（送付状不要）

組織名			
所在地	(〒                      )  (電話番号                      )		
所属/役職		参加方法	対面    ・    オンライン
氏名		E-mail	
所属/役職		参加方法	対面    ・    オンライン
氏名		E-mail	

※1組織で3名以上ご参加される場合、お手数ですが本用紙をコピーしてお申し込みください。  
※いただいた個人情報は、本学プライバシーポリシーに基づき、厳重に管理いたします。



交通機関でのアクセス  
JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田」駅下車  
帝産バス「龍谷大学行き」乗車約8分

龍谷大学  
龍谷エクステンションセンター（REC）  
〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5  
Tel 077-543-7743 Fax 077-543-7771